

令和6年2月28日

保護者様

日立市立日立特別支援学校長 瀬尾 栄

令和5年度 学校評価（後期） 保護者アンケート集計結果について

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。また過日は、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。下記のとおり、評価結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

【考察】

1 キャリア教育の充実（設問1～4）

全体的に肯定的な回答をいただいておりますが、設問3については、全くあてはまらないの回答がありましたので、引き続き、地域の教育的資源を活用した体験学習を取り入れてまいります。

2 確かな学びの定着（設問5～8）

全体的に肯定的な回答をいただいておりますが、設問6については、中学部・高等部に全くあてはまらないの回答がありましたので、社会的自立に向けて、生徒が社会的ルールを身につけることを大切にしながら、個々の障害等に応じて周囲の環境を調整して支援していくよう努めてまいります。

3 豊かな心の育成（設問9～13）

全体的に肯定的な回答をいただいておりますが、設問10については、小学部に比べて中学部・高等部の回答の数値が低くなりました。道徳や学級活動をはじめ学校の教育活動全体を通じ、全てのお子さんに「いじめは人間として決して許されない」ことへの理解を促し、お子さんの豊かな情操や道徳心、自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を尊重し合える態度を育て、いじめの未然防止に努めてまいります。

4 健康・安全・体力の向上（設問14～17）

全体的に肯定的な回答をいただいておりますが、設問15については、小学部に比べて中学部・高等部の回答の数値が低くなりました。お子さんの医療的ケアについては、その時の体調や年齢、成長に伴っても対応が変わってきます。引き続き、医療や福祉機関と連携し、巡回指導医研修を積み重ねながら、お子さん一人一人に安全な医療的ケアの実施に努めてまいります。

5 教職員の専門性の向上（設問18～22）

全体的に肯定的な回答をいただいておりますが、設問21については、全くあてはまらないの回答がありました。今後はコンプライアンス研修を重ね、人権意識を高くもち児童生徒や同僚の立場や気持ちを考えた言動に心がけ、児童生徒が安心して楽しい学校生活を送れるよう誠心誠意努めてまいります。

6 家庭・地域との連携（設問23～26）

全体的に肯定的な回答をいただいておりますが、設問26については、全くあてはまらないの回答がありました。学校評価については、今後の学校教育

の改善につなげるための大切な資料となり、日立市教育員会に報告しております。今回の学校評価の結果を真摯に受け止め、来年度の学校教育に活かしてまいります。

7 専門性を活かしたセンター的役割（設問 27～31）

全体的に肯定的な回答をいただいておりますが、設問 29 については、他部に比べて中学部の回答の数値が低くなりました。ご意見ありがとうございます。お子さんの成長には、お子さんの実態に合わせ、教員の考えだけでなく保護者の思いや願いをお聞きし、合意形成を図りながら進めていくことが大切です。何か不安や疑問な点がございましたら、どんな些細なことでも構いませんので学校へご連絡ください。

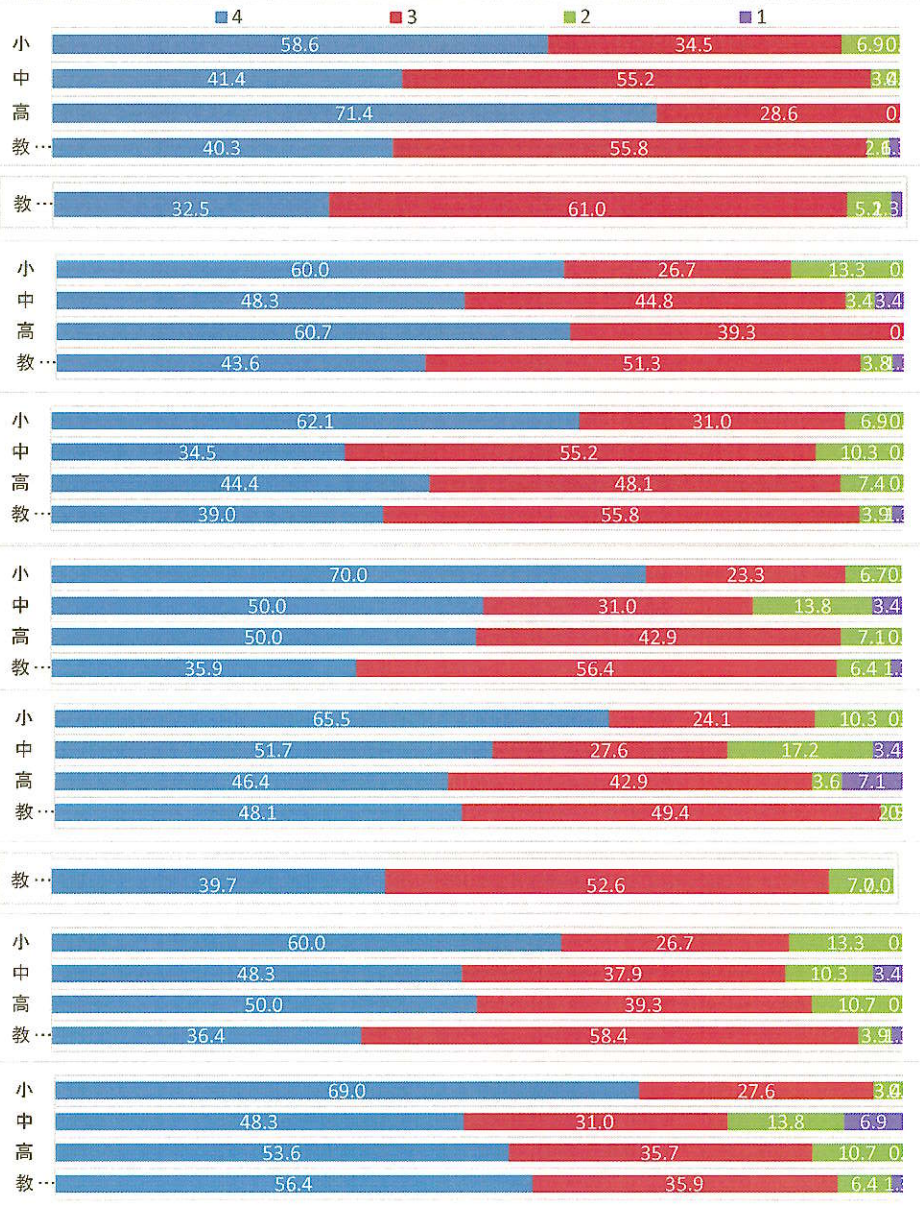
令和5年度後期 学校評価 保護者アンケート集計表 全学年 実施:1月

(保護者回答人数:87名) (教職員回答人数:84名)

◇評価のめやす

4 よくあてはまる(そう思う) 3 ややあてはまる(だいたいそうおもう) 2 あてはまらない(あまりそう思わない) 1 まったくあてはまらない(思わない)

番号	質問事項		4	3	2	1
1	学校は、社会的・職業的な自立を目指した教育活動を行っている。	小	58.6	34.5	6.9	0.0
		中	41.4	55.2	3.4	0.0
		高	71.4	28.6	0.0	0.0
		教職員	40.3	55.8	2.6	1.3
2	体系的なキャリア教育による体験活動や職業教育の充実を図っている。	教職員	32.5	61.0	5.2	1.3
		小	60.0	26.7	13.3	0.0
		中	48.3	44.8	3.4	3.4
		高	60.7	39.3	0.0	0.0
3	学校は、地域の教育的資源を活用した体験活動を行っている。	教職員	43.6	51.3	3.8	1.3
		小	62.1	31.0	6.9	0.0
		中	34.5	55.2	10.3	0.0
		高	44.4	48.1	7.4	0.0
4	学校は、企業や福祉施設とのネットワークづくりによる進路指導を行っている。	教職員	39.0	55.8	3.9	1.3
		小	70.0	23.3	6.7	0.0
		中	50.0	31.0	13.8	3.4
		高	50.0	42.9	7.1	0.0
5	学校は、お子さんの学習課題や興味関心に合った授業を行っている。	教職員	35.9	56.4	6.4	1.3
		小	65.5	24.1	10.3	0.0
		中	51.7	27.6	17.2	3.4
		高	46.4	42.9	3.6	7.1
6	学校は、個々の障害等に応じた合理的配慮がなされた支援をしている。	教職員	48.1	49.4	2.5	0.0
		小	60.0	26.7	13.3	0.0
		中	48.3	37.9	10.3	3.4
		高	50.0	39.3	10.7	0.0
7	学校は、障害の状態や特性等に応じたICT活用による学習活動を行っている。	教職員	36.4	58.4	3.9	1.3
		小	69.0	27.6	3.4	0.0
		中	48.3	31.0	13.8	6.9
		高	53.6	35.7	10.7	0.0
8	学校は、子供達が互いのよさを認め合う居心地の良い学級経営をしている。	教職員	56.4	35.9	6.4	1.3



豊かな心の育成	10 学校は、不登校・いじめを出さない指導をしている。	小	70.0	26.7	3.3	0.0	小	70.0	26.7	3.0	
		中	37.9	41.4	17.2	3.4	中	37.9	41.4	17.2	3.4
		高	50.0	35.7	7.1	7.1	高	50.0	35.7	7.1	7.1
		教職員	52.6	43.6	2.6	1.3	教	52.6	43.6	2.6	1.3
	11 学校は、交流及び共同学習(学校間・居住地校・地域)の充実を図っている。	小	69.0	27.6	0.0	3.4	小	69.0	27.6	0.0	3.4
		中	37.9	48.3	10.3	3.4	中	37.9	48.3	10.3	3.4
		高	57.1	39.3	3.6	0.0	高	57.1	39.3	3.6	0.0
		教職員	37.2	56.4	5.1	1.3	教	37.2	56.4	5.1	1.3
	12 学校は、道徳教育・体験活動の充実(さわやかマナーアップ運動・花いっぱい運動への積極的な参加)を図っている。	小	62.1	34.5	0.0	3.4	小	62.1	34.5	0.0	3.4
		中	51.7	44.8	0.0	3.4	中	51.7	44.8	0.0	3.4
		高	67.9	28.6	3.6	0.0	高	67.9	28.6	3.6	0.0
		教職員	43.6	48.7	5.1	2.6	教	43.6	48.7	5.1	2.6
	13 学校は、文化・芸術活動へ積極的に参加している。	小	65.5	31.0	0.0	3.4	小	65.5	31.0	0.0	3.4
中		44.8	44.8	6.9	3.4	中	44.8	44.8	6.9	3.4	
高		60.7	35.7	3.6	0.0	高	60.7	35.7	3.6	0.0	
教職員		30.8	65.4	3.8	0.0	教	30.8	65.4	3.8	0.0	
健康・安全・体力の向上	14 学校は、摂食指導や保健・安全指導の充実を図っている。	小	69.0	24.1	6.9	0.0	小	69.0	24.1	6.9	0.0
		中	41.4	41.4	13.8	3.4	中	41.4	41.4	13.8	3.4
		高	50.0	39.3	7.1	3.6	高	50.0	39.3	7.1	3.6
		教職員	56.4	39.7	1.3	2.6	教	56.4	39.7	1.3	2.6
	15 学校は、医療や福祉機関との連携による安全な医療的ケアを実施している。	小	75.9	17.2	6.9	0.0	小	75.9	17.2	6.9	0.0
		中	48.3	34.5	10.3	6.9	中	48.3	34.5	10.3	6.9
		高	55.6	37.0	3.7	3.7	高	55.6	37.0	3.7	3.7
		教職員	54.5	40.3	5.2	0.0	教	54.5	40.3	5.2	0.0
	16 学校は、防災教育(避難訓練等)による危機回避能力の向上に努めている。	小	73.3	23.3	3.3	0.0	小	73.3	23.3	3.0	3.0
		中	58.6	34.5	3.4	3.4	中	58.6	34.5	3.4	3.4
		高	64.3	32.1	0.0	3.6	高	64.3	32.1	0.0	3.6
		教職員	46.2	50.0	3.8	0.0	教	46.2	50.0	3.8	0.0
	17 学校は、体育活動や部活動・対外活動の充実を図っている。	小	69.0	24.1	3.4	3.4	小	69.0	24.1	3.4	3.4
中		44.8	37.9	13.8	3.4	中	44.8	37.9	13.8	3.4	
高		64.3	32.1	0.0	3.6	高	64.3	32.1	0.0	3.6	
教職員		57.1	37.7	2.6	2.6	教	57.1	37.7	2.6	2.6	
教職	18 学校課題研究や専門性向上研修等OJTによる研修の充実を図っている。	教職員	31.2	61.0	6.5	1.3	教	31.2	61.0	6.5	1.3
	19 キャリアステージに応じた研修の充実を図っている。	教職員	24.4	65.4	9.0	1.3	教	24.4	65.4	9.0	1.3

職員の専門性の向上	20	教職員一人一人のよさを活かした協働性・同僚性の向上に努めている。	教職員	30.8	62.8	5.1	1.3	教...	
	21	教職員は、コンプライアンスを遵守し、人権意識をもってお子さんに関わっている。	小	63.3	36.7	0.0	0.0	小	
			中	37.9	41.4	17.2	3.4	中	
			高	39.3	39.3	10.7	10.7	高	
教職員			63.0	35.8	1.2	0.0	教...		
22	学校は、働き方改革として業務や行事の精選を進めている。	小	55.2	41.4	3.4	0.0	小		
		中	41.4	48.3	6.9	3.4	中		
		高	46.4	50.0	3.6	0.0	高		
		教職員	47.0	45.8	7.2	0.0	教...		
家庭・地域との連携	23	学校は、各種たよりやHP等による積極的な情報発信を行っている。	小	63.3	30.0	6.7	0.0	小	
			中	55.2	34.5	6.9	3.4	中	
			高	60.7	32.1	7.1	0.0	高	
			教職員	32.1	61.5	3.8	2.6	教...	
	24	学校は、PTAや地域との協働による連携強化を図っている。	小	60.0	33.3	3.3	3.3	小	
			中	41.4	51.7	6.9	0.0	中	
			高	57.1	35.7	7.1	0.0	高	
			教職員	32.1	61.5	3.8	2.6	教...	
	25	学校は、家庭・地域との連携による防災体制の確立に取り組んでいる。	小	50.0	43.3	3.3	3.3	小	
			中	44.8	34.5	10.3	10.3	中	
			高	44.4	44.4	7.4	3.7	高	
			教職員	28.2	55.1	14.1	2.6	教...	
26	学校は、学校評価に基づく教育活動の改善・充実を図っている。	小	53.3	40.0	3.3	3.3	小		
		中	44.8	37.9	10.3	6.9	中		
		高	50.0	28.6	17.9	3.6	高		
		教職員	38.5	55.1	3.8	2.6	教...		
センター的役割	27	学校は、保・幼・小・中・義務教育学校・高校への支援の充実を図っている。	教職員	30.8	62.8	2.6	1.2	教...	
	28	学校は、お子さんの健康相談や進路相談等に対し、ニーズに応じた適切な支援を行っている。	小	63.3	33.3	3.3	0.0	小	
			中	55.2	24.1	17.2	3.4	中	
			高	57.1	39.3	3.6	0.0	高	
			教職員	37.2	56.4	2.6	3.8	教...	
	29	学校は、意見や要望・悩みなどに対して、話しやすい場や相談の機会を設けている。	小	56.7	40.0	3.3	0.0	小	
中			44.8	24.1	24.1	6.9	中		
高			46.4	42.9	3.6	7.1	高		
教職員			39.7	53.8	3.8	2.6	教...		

30	学校は、ボランティア養成による交流活動の充実を図っている。	教職員	29.5	51.3	16.7	2.6
31	学校は、特別支援教育に関する研修の充実を図っている。	教職員	42.3	52.6	3.8	1.3



令和5年度 保護者アンケート（後期） 自由記述内容

	NO	ご意見	対応策
豊かな心の育成	10	<ul style="list-style-type: none"> ・2年連続言葉遣いの悪い子と同じクラスになっていて、人の真似をするうちの子は、時折汚い言葉を話すようになっていました。その子のお母さんから改善してもらわないと収まらない問題であることは承知しています。学校ではおそらくニコニコ対応しているんだと思いますが、家では「そろそろ面倒見るのは疲れた」と言っています。 	<p>ご意見ありがとうございます。学校では、中学部・高等部に進むにつれ「場に応じた言葉遣い」を指導しています。友達同士の言葉遣いと、目上の人や職場、公的な場での言葉遣いを使い分けられるように、家庭と連携しお手本を示しながら繰り返し指導してまいります。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・先生に怒鳴られてまた不登校になっている子がいると聞いています。先生も人間なので感情的になることもあるとは思いますが、相手をよく見て対応していただけるとありがたいです。 	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘のような要因で不登校になっている児童生徒は確認できませんでしたが、人権意識を高くもち児童生徒に寄り添い、一人一人のよさを大切にしながら個に応じた支援をしてまいります。</p>
専門性の向上	21	<ul style="list-style-type: none"> ・教員からバカにされる言動が多々あり学校に行きたくないと言う日が増えていきます。教員にそのつもりがなくても、子ども達にそう捉えられてしまう言動もあると思います。 	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘を重く受け止め、日々の指導や言動を振り返り、様々な研修を積みながら教員としてより人権意識を高くもってお子さんに関わり、お子さんが安心して学校で生活できるよう努めてまいります。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・不適切な言葉を繰り返して言う子に対し、給食を減らしているということをお子さんから聞いています。本当なのでしょうが。 	<p>ご意見ありがとうございます。健康面の理由から、保護者と相談して給食の量を減らすことはあります。不適切な言葉をお子さんの給食を減らすことはしておりませんが、ご指摘を真摯に受け止め、家庭と連携を図りながら、誤解のないように指導してまいります。</p>
センター的役割	29	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに相談機会は設けているが解決はしない 保護者からの『話は聞く』けど『学校は学校だから』となり特に何も変わらない。 	<p>ご意見ありがとうございます。お子さんの成長には、お子さんの実態に合わせ、教員の考えだけでなく保護者の思いや願いをお聞きし、合意形成を図りながら進めていくことが大切です。ただ、学校全体に関わることにつきましては、保護者や学校の思いや考えだけでなく、市教育委員会の指導の下、本校の小学部・中学部・高等部間の連携（内容によっては県立特別支援学校や市内小中学校との連携）を図りながら進めていく必要があります。</p>
自由記述		<ul style="list-style-type: none"> ・保健室での対応だが、以前同じ学年の子が骨折していたが、すぐに、病院へ連れて行かず、親が来るのを待っていた。痛みが強ければ親が来る前に病院へ行かないのかと疑問があった。 	<p>ご意見ありがとうございます。お子さんが怪我や体調不良になった場合は、その容態に合わせて保護者と連絡をとり、「学校で安静にする」「早退」「病院受診」「救急車要請」等の判断をいたします。お子さんを第一に考え、容態に応じてできるだけ早く適切な対応をしてまいります。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは挨拶してくれても、先生が挨拶せずにいるので、そういう人には無視することにしました。その先生のクラスの子供たちは見る限りでは全く笑顔もなく暗い感じがかわいそうな感じがします。 	<p>ご意見ありがとうございます。児童生徒に挨拶の指導をする際には、「相手の顔を見て笑顔で挨拶すること」「自分から進んで挨拶すること」「挨拶をされたら、必ず挨拶を返すこと」を指導のポイントにしております。ご指摘を真摯に受け止め、教師自らがお手本を示すよう努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小学部の先生は保護者以上に子供の理解度が高い。子供への観察力や指導力が高いので安心して任せる事ができます。 	<p>ご意見ありがとうございます。お子さんの成長には、教員の日々の細やかな観察と個に応じた丁寧な指導が大切です。そのためには、教員が研修を重ね資質向上のために学び続けることと同時に、保護者の子育てから得られたお子さんへの理解や関わり方から学ぶこともあります。今後も保護者の思いや願いをお聞きし、合意形成を図りながら進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からアンケート調査して結果が出たら教育委員会に結果を報告するのでしょうか。 	<p>ご意見ありがとうございます。学校評価の結果につきましては、日立市教育委員会へ報告しております。本校職員の自己評価と保護者の皆様よりいただいた評価をもとに、今後の本校の学校教育の改善につなげてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震のこともあり、福祉避難所の重要性が高まっていると思います。市と協定を組み福祉避難所としての機能充実をさらに進めていただけたらと思います。 	<p>ご意見ありがとうございます。能登半島地震を例に見ても、災害時を想定し、お子さんやご家族が安心安全に避難できる備えが大切です。今後も、市防災対策課と連携を図りながら、本校児童生徒に必要な防災備蓄品や市指定避難所化の要請をしております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・先生方には1時間ごと、一日ごと、学期ごと、年度ごとと様々な視点で子どもに必要な支援、教育を考えて接していただきました。感謝しています。 	<p>ご意見ありがとうございます。今後もお子さんの自立と社会参加を目指して、家庭と連携を図りながら取り組んでまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭の教育方針の違いのすれ違いがある。 	<p>ご意見ありがとうございます。お子さんの成長については、お子さんの実態に合わせ、教員の考えだけでなく保護者の思いや願いをお聞きし、合意形成を図りながら進めていくことが大切です。何か不安や疑問な点がございましたら、どんな些細なことでも構いませんのでご連絡ください。よろしくお願いたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・強制的ではなく、子供に寄り添った教育をしてほしい。子供を自由に生活させてほしい。 	<p>ご意見ありがとうございます。教員はお子さんの成長を願い、それぞれの教育観をもって関わっています。ただし、お子さんの気持ちに寄り添えずお子さんの実態に合わない関わりでは教育効果がありません。今回ご指摘いただいた点を真摯に受け止め、今後は、お子さんの気持ちに寄り添い、お子さんが自己選択・自己決定する機会を大切にしながら関わるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事がシフト制になっているため、授業参観のお知らせが月末頃だと予定を変更しなければならないので、できれば月の初めに行事予定を知らせていただくと助かります。 	<p>ご意見ありがとうございます。授業参観のお知らせは、参観日より約1ヶ月前を目途に配付しております。また、各部だよりでは翌月の行事予定で授業参観の期日を示しており、前月の月初めにはお知らせしておりますので、</p>

		それらをご覧になり対応していただきますようお願いいたします。
	<ul style="list-style-type: none"> • きらきら教室のベッドが少し古いかなと思います。マットレスだけでもきれいな物にしていただけると気持ちよく使えるかなと思います。 	<p>ご意見ありがとうございます。ベッドやマットについては、新しいのものと入れ替えながら、必要なものは随時市教育委員会へ要望していく予定です。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> • 今後も娘の進路先が決まるまで宜しくお願い致します。 	<p>ご意見ありがとうございます。今後も、卒業後の進路先や自立と社会参加に向けて、家庭と連携を図りながら取り組んでまいります。</p>